

ふりがな 氏名	さい えのく	都 道 府 県	埼玉県	
	佐井 以諾			
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> ・東京大学工学部システム創成学科環境エネルギーコース ・JYPS (Japan Youth Platform for Sustainability) 			
私のESD活動	<p>大学で持続可能な資源利用について研究し、課外活動でインターンやイベント運営、情報発信をしております</p>			
関心・活動のSDGs	     			

活動の概要

私は、大学において、持続可能な資源利用、特に金属資源の利用方法について研究しております。経済発展とともに増加した資源・エネルギーの消費と、その影響で生じた様々な問題との関係を扱っています。特に現在は、卒業論文として新幹線を題材に、ある製品のパフォーマンスとそのパフォーマンスを発揮する上で消費した資源の関係を定量化し、環境負荷や資源の希少性等の観点から分析して、より効率的な資源利用を模索しています。

また、課外活動として①市民社会ネットワーク JYPS における持続可能な社会の普及啓発活動や、②JICA の資源エネルギーグループでインターン、③大学内において持続可能な社会を推進する活動を行うために学生団体 UTSS を立ち上げて活動しております。

①2018年2月より JYPS に所属し、主にイベント運営や広報活動の補助を行ってきました。イベントとしては、日本 UNEP 協会や UNDP 協会のイベントで運営補助を行いました。②学問の世界だけではなく、実際に持続可能な社会を目指して、どのような行動がされているのかを知るため、JICA の資源エネルギーグループでインターンを行いました。石炭火力発電所支援の是非について、様々な意見の聞きに行き、過去資料の分析を通して、自分なりの意見を提案しました。③大学内でもより多くの活動を行うため、有志で学生団体を立ち上げました。主な活動として、ツイッターでの情報発信と11月の学園祭でのイベントを企画しております。

今後の活動の展望と周囲や社会への還元

私はこのコンファレンスの参加を通じて知り合った方々と、自身の活動の拡大とともに、PDCA を回しながらフィードバックをもらえる関係を築きたいと考えております。現在、私の活動拠点は東京ですが、全国からの参加者を通して様々な団体や個人とつながり、協同してイベント等を行いたいです。特に教育という点に関しましては、過去参加者を拝見させていただいたところ、小中学校の教師の方が多いことに気が付きました。そこで、私の学校の団体を使い、各学校に合った教育イベント等を行いたいです。環境教育や普段の勉強の補助等が考えられ、どれもよりよい未来に向けて、よりよい人材を育成することにつながります。

また、私の活動はどれも学生が中心となって行っており、若さを生かした勢いのある活動を今後も行っていきたいと考えております。その反面、若さゆえの失敗も多く発生する可能性があり、それらに対処するために、今回のイベントで私よりも経験値を多く積んでいる方とつながり、指導を賜りたいと考えております。日々の活動の進捗を SNS 等で共有することにより、自分では考えつかない方法やリスクを教えていただき、活動をよりスムーズに行っていきたくです。